

優しく強い子に！



南 Jrユース新春フットサル結果

和田監督から、Jrユースのフットサル結果のレポートが届きました。

4チームとも予選敗退になりましたが、子ども達は最後まで諦めず良く闘ってくれました。

特にジュニアユースOBチームが昨年の準優勝チームに勝利し、南八魂を子ども達に示してくれました。2日間ではありましたが、子供達・OBとが南八ジュニアユースとして、一体感を感じられた嬉しい大会でした。

<http://www.minamih.net/>
19・1・19 (土)
南NEWS no 123

新春フットサル大会のコメントになります。
宜しくお願い致します。

by Jrユース和田監督

●南アンフィールド(中3)

- ・南アンフィールド 4-9 ひよどり
- ・南アンフィールド 7-12 絹の道☆33

受験前の3年生でしたが、何とか5人集まることができました。継続的にボールを蹴れている状況ではなく、運動不足は否めない。しかし、ジュニアユースとしての最後の新春フットサルということで、気合は入っていました。

チームコンセプトは3つ。
「声を掛け合って助け合う」
「ゴールに向かってチャレンジする」
「楽しむ」



前半は互角の展開で点の取り合い。後半に入ってやはり体力不足により失点が多くなってしまいました。結果は7-12で敗戦でしたが、7点を取るだけの攻撃力はあるチーム。

試合を通して、怪我を抱えたメンバーもいる中、それぞれがやれることをやり、持ち味を出していました。局面での勝負や駆け引きにもチャレンジし、闘っていたと思います。

3年生の皆さん、自分の進路に向かって確信を持って残りの1ヶ月を過ごしてください！

●南スタンフォード(中2)

- ・南スタンフォード 2-6 沢大南FC
- ・南スタンフォード 3-3 宇津木SC U-14 3PK2

一対一でしっかり勝負する、という約束事で試合に入りました。キャプテンのショウヘイが最後尾でバランスを取りながら相手の攻撃を防ぎ、カウンター狙いの前半。

しかし、守備の時間が長くなり、攻撃も単調でリズムが生まれず、耐える試合展開で後半からセタを投入すると、キープ力を発揮して攻撃のリズムがだんだんと生まれてきました。

すると守備にも連携が生まれ、全員が責任感を持って上がり下

がりをしつつ、キーパーのトクを含めて守れていました。ドリブルやパスの数も増え、シュートまで行くか機会を作れるようになり、試合は点の取り合いに。スコアは3-3、前後半で決着がつかず初めてのPK戦へ。

キック力に自信のあるショウヘイ、セタ、ヨウタの3人がきちり決めて、3-2で無事勝利することができました。

トクは初めてのフットサルPKキーパーでしたが、相手に圧力をかけ、ミスを誘うことができました。至近距離かつ、小さいゴールのPKは良い経験になったと思います。

最後まで諦めずに得た一勝は重いものがあるはずですが、去年は優勝。来年は振り返り咲き目指して、頑張りましょう！

●南セントジェームス(中1)

- ・南セントジェームス 0-6 4小ダイナマイト
- ・南セントジェームス 4-2 松が谷FC

中学生としての初めてのフットサル。小学生のチームでフットサル経験がある選手もいれば、今回が初めての選手もいました。

慣れないフットサルでしたが、

一人一人がチャレンジをする
責任感を持って攻守においてプレーする
声を掛け合って楽しむ

いつものサッカーと本質的には変わらないことをより意識してやり切ることを約束して試合に入りました。

立ち上がりは緊張や戸惑いで硬くなる選手もいましたが、GKのケントやベンチからの声かけで盛り上げ、相手の攻撃を防ぎ、得点を重ねることができました。

結果は4-2で勝利。今大会が初のフットサルだったセイケイからも得点が生まれ、価値ある一勝だったと思います。

しかし、課題も多いです。試合後のミーティングでも話しましたが、サッカーやフットサルは、自分がボールを持っている時間よりも持っていない時間(オフザボール)が圧倒的に多い。自分がボールを持った時に良いパフォーマンスをするために準備をするのがオフザボールの時間であり、その中で様々な駆け引きや味方のサポートが生まれます。そのことを理解してプレーをしましょう。

フィールド22人に対しボールは1つしかありません。だからこそ運動やサポートが必要であり、「サボる」なんてことはもってのほかです。

もうすぐ2年生。受験などを考えると2年生の1年間で中学生の中で最もサッカーを伸び伸びやることができ、進歩と共にサッカーが1番楽しくなる時期となります。

これでサッカーに戻るので、仲間とともに「責任感」を持って切磋琢磨していきましょう！

●南トラフォード(ジュニアユースOB)

・南トラフォード 2-3 トレネードポテト

・南トラフォード 4-2 インパクト重視！！

3年前に発足した南八OBフットサルチーム。未だ初勝利から遠ざかっていました。

今年こそはと望んだ大会でしたが、初戦は敗戦。しかも第2戦の今回の相手は去年の準優勝チーム。勝てばジャイアントキリング。

作戦は、対人に強い諸井(4期生)と大澤(6期生)でしっかり守り、守備から攻撃を組立てるプラン。

立ち上がりから相手はパワープレーでどんどん蹴り込んできましたが、作戦通りしっかり守備を固め、カウンター狙いで試合を進めました。

前半の中盤で一瞬の隙から先制されてしまいました。前半のラストプレーで得たゴール前の間接FKをしっかり決めて、1-1で後半へ。

後半もやり方を変えず、中盤で森田(6期生)が攻守において要の役割を果たし、全員で守備をサボらずに展開すると、前のめりになった相手の隙をついてのカウンターが効き始めるように。

小林(6期生)はやれることをやり、GKの牛窪一期(11期生)のセービングが光る中、試合は白熱し、2-2の同点の中、前線でボールを受けた加藤周(11期生)が絶妙の間合いのドリブルにより相手を3人かわして鮮やかにゴール。大きな勝ち越し点を挙げました。

この時、ベンチの田中剛 監督(南八ジュニア7期生)はマラドーナばりのガッツポーズで大興奮。

さらにだめ押しの4点目を井上凌弥(11期生)が決めて勝利を確実に。3年越しの初勝利を挙げることができました。

残念ながらトーナメント進出はなりませんでしたが、今回の勝利はチームの自信につながりました。

来年はまずは予選突破(できれば優勝)目指して頑張ります！

皆さんこの一年、怪我のないように！

OBの皆さんもどんどん文化大へ！

b y 南 J r ユース和田監督

3年生は受験勉強の最中でもフットサルGAMBARIましたね。2年生・1年生・OBのそれぞれの1勝も嬉しいです。

南八王子・南J r ユースと活躍した牛窪君・加藤君・井上君の名前・活躍が嬉しいです。

加藤君のドリブル観たかった！！

b y 南のアンパンマン

